

BeoLink Active キットとアクティブ スピーカーを使うと、メイン システムでさまざまな機能を利用することができます。

メイン システムで選択したオーディオやビデオなどの音源が BeoLink を経由して BeoLink Active とスピーカーを設置した部屋でも聞くことができます。

機能はこれだけではありません。Beo4 リモコンを使えば、BeoLink Active からメインシステムの再生機能を操作することもできます。

本書では BeoLink Active の操作方法について説明します。

**取扱説明書**



- 4 ヒント...
  - ..別室で音楽を聴くには
- 5 本体操作
  - サウンド調節
  - タイマー プレイ機能
  - ボリューム調節
- 6 リモート操作
  - Beo4 リモコンを使用する
- 7 メイン システムを操作する
- 8 ヒント
- 9 BeoLink Active のサウンドを調節する
- 10 Beolink 1000 リモコンを使用する

本書では、BeoLink Active セット (BeoLink Active キットとアクティブ スピーカー) の操作方法について説明します。

BeoLink Active キットと同梱の『セットアップ ガイド』では、BeoLink Active とスピーカーの設置方法について詳しく説明してあります。また、BeoLink Active の使用前の準備についても説明してあります。

## ..別室で音楽を聴くには

BeoLink Active キットとアクティブ スピーカーを増設すると、メイン システムでさまざまな機能を利用することができます。

- メイン システムで選択したオーディオやビデオなどの音源を BeoLink Active を増設した部屋でも聴くことができます。
- Beo4 リモコンを使用すると、BeoLink Active を増設した部屋でメイン システムのさまざまな機能を操作することができます。

BeoLink Active とスピーカーでも、メイン システムと同じ高品質なステレオ サウンドを楽しむことができます。

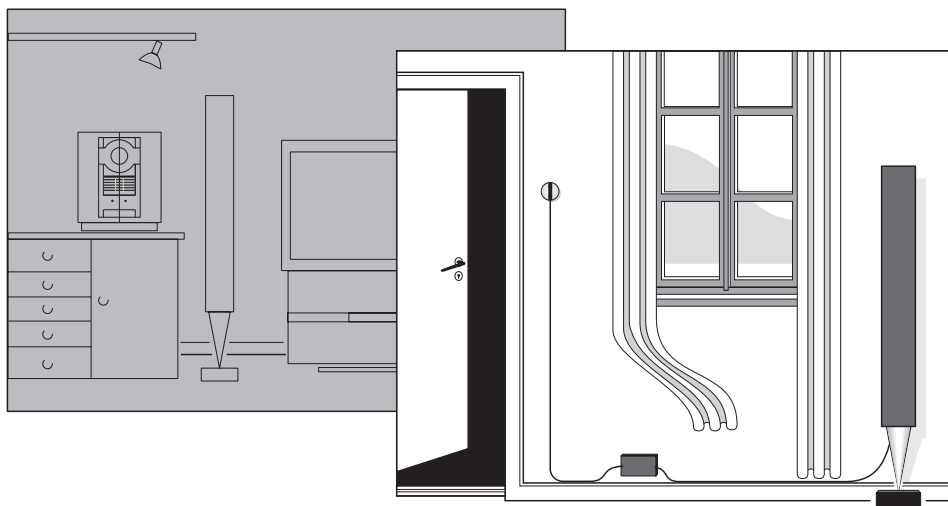
本書では次の操作方法について説明します。

### BeoLink Active 本体での操作：

- メイン システムで最後に受信していたラジオ/TV プログラムか、現在の音源（オーディオ/ビデオ）をオンにします。
- BeoLink Active に接続されているスピーカーのボリューム レベルを調節します。
- 増設した BeoLink Active にメイン システムのタイムープレイ機能を設定します。

### Beo4 リモコンでの操作：

- BeoLink Active レシーバーを経由してメイン システムの音源（オーディオ/ビデオ）をオンにします。
- 現在選択されている音源の再生機能を操作します。
- BeoLink Active に接続されているスピーカーのサウンドを調節します。



メイン システム（オーディオ、ビデオ、AV）と BeoLink Active のセットは、BeoLink で接続されています。

BeoLink Active セットを増設した部屋でもメイン システムの音源を聴いたり、操作したりできます。

## サウンド調節

BeoLink Active レシーバーの下部にある [PLAY・] キーを押すと、メイン システムで現在選択されている音源を聴くことができます。

音源が選択されていない場合に [PLAY・] キーを押すと、最後に受信していたラジオ\*プログラムがオンになります。

[PLAY・] キーを押すと、メイン システムのサウンドを BeoLink Active を増設した部屋で即座に聴くことができます。

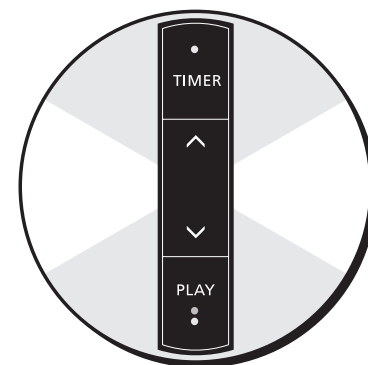
もう一度 [PLAY・] キーを押すと、BeoLink Active がオフになり、[PLAY・] キーに待機状態を示す小さな赤いライトが点灯します。

2 秒以上 [PLAY・] キーを押し続けると、BeoLink Active とメイン システムが同時にオフになります。

\* ご注意：お使いのメイン システムにオーディオ音源がなく、ビデオ システムのみで構成されている場合は、[PLAY・] キーを押すと最後に受信されていた TV プログラムが放送されます。

ご注意：メイン システムが待機状態の時に BeoLink Active をオンにすると、メイン システムのスピーカーは作動せず、BeoLink Active を増設した部屋のスピーカーのみが作動します。

小型の円盤型をした BeoLink Active レシーバーには、本体操作に使用する 3 つのキーがあります。



## タイマー プレイ機能

たとえば、朝の目覚まし代わりに、メイン システムが自動で作動するように設定できます (タイマー プレイ)。BeoLink Active を増設した部屋のスピーカーにもタイマー プレイを設定できます。

タイマー プレイを設定するには、BeoLink Active レシーバーの [TIMER] キーを押します。[TIMER] キーに小さな赤いライトが点灯している場合、メイン システムのタイマー プレイ時に、増設の BeoLink Active も同時に作動します。

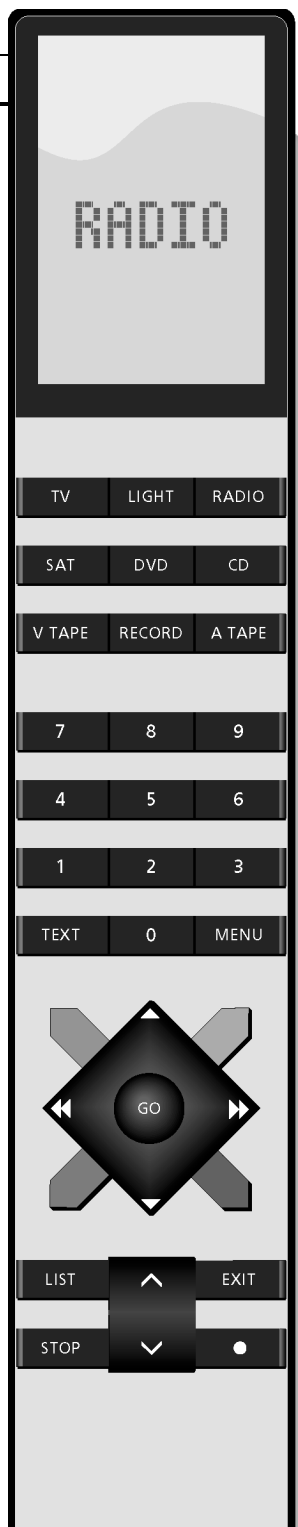
もう一度 [TIMER] キーを押すと、タイマー機能がオフになります (赤いライトが消えます)。

## ボリュームの調節

メイン システムとは別にボリュームを調節できます。

BeoLink Active レシーバーのボリューム ボタン [Y] か [/] を押すと、スピーカーのボリューム レベルを調節できます。

ご注意：サウンド調節の詳細については、9 ページを参照してください。



## Beo4 リモコンを使用する

Beo4 リモコン\* では、BeoLink Active セットのすべての機能を操作できます。

BeoLink Active 本体を操作する場合、メインシステムで最後に受信されていたラジオ/TV プログラムか、現在選択されている音源をオンにします。

Beo4 リモコンを使って、メインシステム（オーディオとビデオ）の音源をオンにし、再生機能を操作することができます。

Beo4 リモコンを使うと、メインシステムを直接操作しているかのように再生機能を操作することができます。

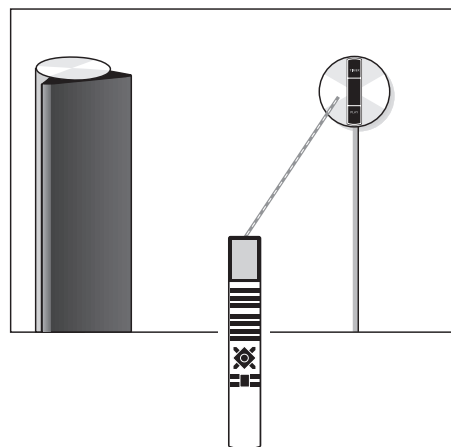
Beo4 リモコンで行う操作は、すべて BeoLink Active レシーバーで受信されます。BeoLink を経由して、BeoLink Active はメインシステムと通信します。

\* ご注意：Beo4 リモコンはオプションです。Bang & Olufsen 製品取り扱い店でお求めください。

Beo4 リモコンはスピーカーのサウンド調節にも使用します。

Beo4 リモコンと BeoLink Active セットは、ユーザーの命令に即座に応答します。たとえば、ボタンを押すとすぐにスピーカーが作動します。

詳細については次のページを参照してください。



## メイン システムを操作する

BeoLink Active レシーバー介して、メインシステムのオーディオやビデオなどの音源をオンにし、BeoLink Active に接続しているスピーカーで聴くことができます。

Beo4 リモコンの音源ボタンを押します。

選択した音源がプレイ中でも、プログラムの切り替えや、トラックの指定、再生の停止/再開、サーチ/巻き戻しなどの操作ができます。

本ページ右側に、ボタン操作を示してあります。

BeoLink Active セットをオフにするには、Beo4 リモコンの赤いスタンバイ ボタン [•] を押してください。

2 秒以上スタンバイ ボタンを押し続けると、BeoLink Active とメイン システムがどちらもオフになります。

### オーディオ...

ラジオをオンにします。

RADIO

CD プレーヤーを起動させます。

CD

テープレコーダーを起動させます。

A TAPE

### ビデオ...

TV をオンにします。

TV

衛星放送用の TV をオンにします。

SAT

ビデオ テープレコーダーを起動させます。

V TAPE

プログラムを選択するか、CD かテープのトラックを選択します。

▲

または

▼

プログラム番号かトラック番号を入力します。

0

~

9

CD プレーヤー、オーディオ/ビデオ テープレコーダーを一時停止します。

STOP

オーディオ/ビデオ テープレコーダー、シングル CD プレーヤーでは...

テープを巻き戻したり、シングル CD プレーヤーの CD を後方にサーチします。

◀

または

テープを早送りしたり、シングル CD プレーヤーの CD を前方にサーチします。

▶

再生を再開します。










GO

サーチの詳細については、次ページを参照してください。


ご注意 : このページで説明した機能は、対象音源がメインシステムに設定されていて、その機能がサポートされている場合に限ります。増設の BeoLink Active でも利用できます。

これらの機能の詳細については、メインシステムの『ユーザーズ ガイド』を参照してください。

マルチ CD プレーヤーでは...

-  前後の CD に変更します。
- または
- 
-  聴きたい CD のディスク番号を直接入力します。
- ~
- 
-  : CD を前方にサーチします。
-  : CD を後方にサーチします。
- CD のトラックを選択します。
-  LIST TRACK\* と表示されるまで押し、
- 続いて
-  「11」などのトラック番号を入力します。
- 

---

-  BeoLink Passive をオフにします。

#### Beo4 と BeoLink Active に関するヒント...

- BeoLink Passive が待機状態の時に Beo4 リモコンの中央右にあるボリューム ボタンを押すと、BeoLink Active レシーバーで直接 [PLAY ●] キーを押すのと同じ操作ができます (5 ページを参照)。
- メイン システムのレコード プレーヤーを再生するには、[LIST] ボタンを押し、PHONO\* と表示されたら [GO] ボタンを押します。レコードの再生中に、[m] か [p] を押すと、レコード プレーヤーは 8 ミリ単位で早送りされます。
- メイン システムの補助オーディオ/ビデオ テープ レコーダーを再生するには、[LIST] ボタンを押し、[A.TAPE2]\* か [V.TAPE2]\* と表示されたら [GO] ボタンを押します。
- モノラル/ステレオ サウンドや、ラジオ放送の言語、TV プログラムと衛星放送プログラム、ビデオ テープのサウンドトラックなどを切り替えるには、[LIST] ボタンを押して SOUND\* と表示されたら [GO] ボタンを押します。
- メイン システムと同じ部屋で BeoLink Active セットを使用する場合、BeoLink Active の設定が必要です (『セット アップ ガイド』を参照)。この場合、BeoLink Active スピーカーでメイン システムの音源を再生するには、次のようにボタンを操作します。  
[LIST] ボタンを押し、LINK\* と表示されたら、[RADIO]、[CD]、[A.TAPE] のどれかを選択します。  
または  
[LIST] ボタンを押して LINK\* と表示されたら、[TV]、[SAT]、[V.TAPE] のどれかを選択します。

\*ご注意 : Beo4 に PHONO、A.TAPE2、V.TAPE2、SOUND、LINK などを表示させるには、Beo4 にこれらの機能を追加しておく必要があります。詳細については、Beo4 の『ユーザーズ ガイド』、「Beo4 のカスタマイズ」の章を参照してください。



## BeoLink Active のサウンドを調節する

BeoLink Active セットのサウンドは、メインシステムとは別に調節することができます。

Beo4 リモコンで [Y] や [/] を押すといつでもボリューム調節ができます。また、中央右のボリューム ボタンを押すとスピーカーをミュート状態にできます。

Beo4 リモコンの [LIST] ボタンを押すとディスプレイの表示が切り替わります。

実行したい機能が表示されたら [GO] ボタンを押してその機能をオンにします。

[LIST] ボタンを押すと A.SETUP\* と表示されます。もう一度 [GO] ボタンと [LIST] ボタンを押すと、BASS、TREBLE、LOUDNESS などの機能を BeoLink Active セットのスピーカーに設定することができます。

次にステップ ボタンの [m] か [p]、[GO] ボタンと [i] か [n] を使って調節します。本ページの右側を参照してください。

BeoLink Active をオフにすると、すべてのサウンド レベルは初期値に戻ります。

調節したサウンド レベルを BeoLink Active セットの登録値とするには、[LIST] ボタンを押し、[A.SETUP]\* の表示で [GO] ボタンを押します。もう一度 [LIST] ボタンを押し、S.STORE の表示で [GO] ボタンを押します。

### ご注意

- 現在のサウンド レベル (ボリューム、バランス、低音部、高音部、ラウドネス) は同時に登録されます。
- ビデオのサウンド レベルを調節したい場合は、Beo4 のディスプレイに A.SETUP\* ではなく、V.SETUP\* と表示させてください。
- [LIST] ボタンを押し、RESET\* の表示で [GO] ボタンを押すと、調節したサウンド レベルを登録せずに初期値に戻すことができます。

\* ご注意 : Beo4 に [A.SETUP]、[V.SETUP]、[SPEAKER]、[RESET] などの機能を表示させるには、Beo4 にこれらの機能を追加しておく必要があります。詳細については、Beo4 の『ユーザーズ ガイド』、『Beo4 のカスタマイズ』の章を参照してください。

ボリュームを上げます。



ボリュームを下げます。



中央右を押してスピーカーをミュート状態にします。  
もう一度押すとミュート状態が解除されます。

[SPEAKER]\* と表示されます。



左のバランスを調節します。



または

右のバランスを調節します。



[A.SETUP]\* と表示されます。



続いて

GO

BASS と表示されます。



低音部を下げます。



または

低音部を上げます。



TREBLE と表示されます。



高音部を上げます。



または

高音部を下げます。



LOUDNESS と表示されます。



ラウドネス機能のオン/オフを切り替えます。



リンクのサウンド レベルを調節したら...

[A.SETUP]\* と表示されます。



続いて

GO

S.STORE と表示されます。



調節したサウンド レベルを BeoLink Active スピーカーの設定値として登録します。



**オーディオ...**

<b>RADIO</b>	ラジオをオンにします。
<b>CD</b>	CD プレーヤーを作動させます。
<b>A.TAPE</b>	テープ レコーダーを作動させます。 テープの裏面を再生するには、[SHIFT] ボタンを押してから [SOUND] ボタンを押します。

**ビデオ...**

<b>TV</b>	TV をオンにします。
<b>SAT</b>	衛星放送用の TV をオンにします。
<b>V.TAPE</b>	ビデオ テープ レコーダーを作動させます。

**▲** プログラムを選択するか、CD かテープ  
または



**0** 再生したいプログラム番号かトラック番号  
を入力します。

**9**

**STOP** CD プレーヤー、オーディオ/ビデオ テープ  
レコーダーなどを一時停止させます。

(2 回 [STOP] ボタンを押すと巻き戻さずに VTR が停止します。)

**<<** テープを巻き戻したり、CD を後方にサーチ  
します。

**>>** テープを早送りしたり、CD を前方にサーチ  
します。

**PLAY** 再生を再開します。

**●** BeoLink Active をオフにします。

**Beolink 1000 リモコンを使用する**

Beolink 1000 リモコンでは、BeoLink Active を操作することもできます。

Beolink 1000 の詳細な操作方法については、Beolink 1000 の『ユーザーズ ガイド』を参照してください。

BeoLink Active セットのサウンドを調節するには、Beolink 1000 リモコンの [SOUND] ボタンを使用します。

- [SOUND] ボタンを 1 度押し、バランスを調節します。
- [SOUND] ボタンを 2 度押し、低音部を調節します。
- [SOUND] ボタンを 3 度押し、高音部を調節します。
- [SOUND] ボタンを 4 度押し、ラウドネス機能を設定します。

\*ご注意：実際にサウンドを調節する場合、バランスの調節には [<<] か [>>] ボタンを、低音部、高音部、ラウドネス機能の調節には、[▲] ボタンと [▼] ボタンを使用してください。



**ヒント...**

- BeoLink Active が待機状態の時に、Beolink の [MUTE] ボタンを押すと、直接 BeoLink Active レシーバーで [PLAY・] ボタンを押したこととなります (5 ページを参照)。
- メイン システムで選択されている音源をオンにしようとすると、BeoLink Active スピーカーから別の音源の音が聞こえてくる場合があります。これはメイン システムでオーディオかビデオの録画が行われているためです。録音はこのロック機能で保護されています。
- メイン システムのレコード プレーヤーを再生するには、[PHONO] ボタンを押します。レコードの再生中に、[▲] か [▼] を押すと、8 ミリ単位で早送りされます。
- メイン システムの補助オーディオ/ビデオ テープレコーダーを再生するには、[SHIFT] ボタンを押してから [A.TAPE] か [V.TAPE] を選択します。
- メインビデオ システムに接続された DVD/CDV プレーヤーをオンにするには、[SHIFT] ボタンを押してから、SAT を選択します。
- モノラル/ステレオ サウンドや、ラジオ放送の言語、TV プログラムと衛星放送プログラム、ビデオテープのサウンドトラックなどを切り替えるには、[SHIFT] ボタンを押してから SOUND を選択します。
- メイン システムと同じ部屋で BeoLink Active セットを使用する場合、BeoLink Active の設定が必要です (詳細については『セット アップ ガイド』を参照)。この場合、BeoLink Active スピーカーでメイン システムの音源を聴くには、  
[LINK] ボタンを押してから RADIO、CD、A.TAPE のどれかを選択します。  
または  
[LINK] ボタンと [AV] ボタンを押してから [TV]、[SAT]、[V.TAPE] を選択します。

---

---

購入日

---

担当者

---

販売店

---

電話番号

---

住所

---

---

---

シリアル番号

---

BeoLink Active キット

---

Beolab スピーカー

---

Beo4

---

---

お客様各位

弊社、Bang & Olufsenは、お客様のご要望を満たすことを第一に、製品を設計および開発しています。みなさまにとって、使いやすく、快適な製品を提供することができるよう、日々努力しております。

弊社製品に関するお客様のご意見をお待ちしております。肯定的なご意見、否定的なご意見のどちらも歓迎いたします。お客様が重要であると感じられたことを是非お知らせください。今後の弊社製品の参考にさせていただきます。敬具

宛先:

Customer information dept. 7240  
Bang & Olufsen a/s  
DK-7600 Struer  
Denmark